

# さかお町議会

Vol.104 2025.12.1

9月定例会号

発行 高知県佐川町議会



今回の表紙：斗賀野花取り踊り（白倉神社にて）



新議会構成決まる！ .....	P2
令和6年度決算の認定 .....	P6
9月定例会補正予算・議案質疑 .....	P8
令和7年臨時議会 .....	P14
住民と高校生が新議員に聞く！ .....	P15
9月定例会：一般質問に11人 .....	P16
地域でがんばる「斗賀野花取り踊り保存会」さん...	P28



# 町民に寄り添い、共に動く議会を

開かれた議会、参加しやすい町政を目指す



議長  
松浦 隆起

冬の足音が静かに町を包み始める季節となりました。町民の皆さまにはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、町議会議員選挙後に行われました、組織議会におきまして、議員各位より選任を頂き、議長に就任いたしました。身に余る光栄に感じますとともに、その職責の重大さに、身の引き締まる思いです。

このたびの町議会議員選挙は、現佐川町制になって初めて、無投票という結果となりました。このことは、町政への関心や参加意欲が十分に広がっ

ていない現状の表れとして、重く受け止めております。私自身、議長としてこの課題に真直面から向き合い、開かれた議会、参加しやすい町政を目指して、力を尽くしてまいります。

その意味からも我々議会に課せられた責任は重く、これからも住民の皆さまの目線に立ち、住民の皆さまに寄り添い、日々の研鑽と努力を重ね、信頼される議会を目指し、全力で取り組んでまいります。一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

住民にとって身近で開かれた議会を

向寒の候、町民の皆さまにはお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

過日の町議会議員選挙では、定数と同数の立候補による無投票となり、二期目の任期が始まりました。このたびの臨時議会におきまして副議長に選任いただき、身に余る光栄とともに、その責務の重さを痛感しております。

今回の無投票という結果は、一面では安定の現れであると同時に、町政への関心や議会活動への参加意欲が十分に広がっていない現実も示していると感じております。

だからこそ、副議長として、また一議員として、議会の姿をより分りやすく伝え、住民の皆さまにとって身近で開かれた議会となるよう努めてまいります。

人口減少をはじめ、高校の存続や地域施設の整備、産業の振興など、本町が抱える課題は多岐にわたります。松浦議長をお支えしつつ、議会・執行部と連携し、議論し、住民の皆さまと共に、良い解決策を導けるよう、日々研鑽を重ねてまいります。



副議長  
岡林 哲司

10月24日に臨時議会が開かれ、正副議長や各常任委員をはじめ議会の新しい人事構成が決まりました。

## 総務文教常任委員会

主に総務課、まちづくり推進課、住民課（保険、年金、環境を除く）、教育委員会などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。



委員長・2期  
山本 和輝 議員

このたび町議会議員として2期目の任をお預かりすることになりました。

町民の皆さまの信頼に応えるべく、初心を忘れず、現場主義を大切に地域の声に耳を傾け町政に届け、より良い町づくりに全力で取り組んで町民の皆さまとともに、未来につながる町づくりを進めてまいります。



6期  
松浦 隆起 議員

別掲 2 ページ  
議長あいさつ



6期  
岡村 統正 議員

今回の議会議員の選挙は、佐川町で初めて無投票となりました。町民の皆様には、選挙で議員を選ぶことができなかったことにより我々議員は議員としての一層の責務を感じており、少子化、高齢化等による自然的な人口減少対策、空き屋対策等、町民の安心、安全、福祉の拡充を目指し皆様とともに課題解決に取り組んでまいります。



副委員長・4期  
下川 芳樹 議員

13年目となる議員活動においても、これまでどおり行政の質を問う者として皆さんの声を町執行部に届け、様々な課題解決のために住民の皆さんと連携することで、元気で明るい笑顔あふれる佐川町実現のためにがんばります。



1期  
東 祐太郎 議員

少子高齢化や地域経済の活性化など課題は山積ですが、これらは佐川町の成長の余地でもあります。

皆様の声に耳を傾けるとともに自己研鑽に努め、自治体DX推進や行政の改善など柔軟な発想で、希望と笑顔にあふれる町づくりに全力で取り組みます。



1期  
田村 雅之 議員

現在、佐川町には様々な課題があります。日々減り続ける人口、仕事の安定化、物価問題、教育、福祉と難題を抱えております。少しでも一つでも解決しようと努力して参りますが、皆様のお声が必要です。お話を頂き町政に届けてまいります。本日より一人でも多くの町民の皆様が笑顔になりますように。



1期  
安田 節子 議員

子どもたちが生き生きと成長し、ひとりひとりが大切にされる佐川町をめざして取り組んでまいります。物価高騰、賃金は上がらず日々の暮らしが大変です。声をあげれば暮らしは必ず良くなると肝に銘じ、住民の声をしっかりと聞きして町政に届けてまいります。

## 産業厚生常任委員会

主に建設課、産業振興課、健康福祉課、住民課（保険、年金、環境）、病院などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。



委員長・2期  
田村 幸生 議員

近年発生する地球温暖化による夏場の異常高温は、水稻をはじめ野菜や果樹の品質低下を招いています。

また、あったかふれあいセンターを核とする福祉活動は、益々、重要度を増しています。

そのため、一つ一つの課題に全力で取り組み皆さまと一緒に解決し、生き生きと暮らし続けられる元気な町づくりをめざします。



6期  
松浦 隆起 議員

別掲 2ページ  
議長あいさつ

（今回より、議長は産業厚生常任委員会及び総務文教常任委員会、両委員会を兼任し所属する事となりました。）



6期  
中村 卓司 議員

一浪を経て、再び議会に戻ってまいりました。

私は「よく聞く、正しく見る、強く発言する」を基本に行動し、黒岩地区の河川改修や土地基盤整備、道の駅のさらなる発展、はちぎんの店を中心とした零細農家の支援など、地域の課題に取り組みます。

そのほか、地区の御用聞きとして激走してまいります。



副委員長・3期  
宮崎 知恵子 議員

今回3期目を務めさせて頂くこととなりました宮崎知恵子です。今回に懸ける私の思いは、日々を懸命に生きる一人ひとりの姿を大切に作る町づくりにあります。その努力の姿に私も学ばせて頂き「努力が報われる社会の実現」を目指し、一人一人の長所を生かきり発展繁栄する町づくりの一助になるように務める事です。



2期  
齋藤 光 議員

2期目を迎え、人口減少や産業振興など町の重要課題に、若い視点と現場での行動を大切にしながら取り組んでまいります。暮らしに寄り添い、地域の声を確かな形にしていきます。出会いと繋がりを大事にして、これからも真摯に努めていきます。



2期  
岡林 哲司 議員

別掲 2ページ  
副議長あいさつ



3期  
西森 勝仁 議員

私は、この2期8年間、役場時代の経験と知識を活用して、地域の課題解決や皆さま方の心配ごと相談などを中心に活動して参りました。

これからの4年間は、私にとりまして最後の任期。今まで以上、しっかり頑張りますので、何なりと気軽にお声をかけて下さい。

今回より「国道 494 号佐川バイパス整備促進特別委員会」は産業厚生常任委員会の所管として位置付けられることになりました。



## 議会広報編集委員会

議会の審議、活動等について広く、住民の方に公開周知することを目的に、議会広報の編集を行います。



前列右より  
○東祐太郎  
◎齋藤 光  
岡林哲司  
後列右より  
安田節子  
田村雅之

## 議会運営委員会

議会の日程、議案や一般質問の取り扱いなど議会運営を円滑に行うために必要な事項や、議長からの諮問事項を審査します。



前列右より  
田村幸生  
◎岡村統正  
○下川芳樹  
後列右より  
齋藤 光  
東祐太郎  
田村雅之

◎委員長 ○副委員長

## 佐川高等学校存続に向けての 調査特別委員会



前列右より  
宮崎知恵子  
松浦隆起  
◎岡林哲司  
○田村幸生  
岡村統正  
後列右より  
齋藤 光  
安田節子  
東祐太郎  
下川芳樹  
田村雅之

高吾北広域町村  
事務組合議会議員

山本 和輝  
田村 幸生  
下川 芳樹  
松浦 隆起

日高村佐川町  
学校組合議会議員

下川 芳樹  
松浦 隆起

## 令和 6 年度

# 一般会計・特別会計の決算を認定！

令和 7 年 9 月定例会

9 月定例会は、9 月 5 日から 12 日までの会期で開かれました。

令和 6 年度決算認定のほか、令和 7 年度補正予算をはじめ、条例改正など議案 11 件・認定 8 件、人事案 3 件、報告 5 件を審議し、採決の結果、全件可決しました。

一般質問には 11 人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。

### 一 般 会 計

前年度の決算額と比較すると、歳入 2 億 3 千 825 万 2 千円余りの増額、歳出 1 億 1 千 851 万 4 千円余りの増額となっている。実質収支 1 億 7 千 810 万 9 千円となっている。

#### 歳入

町税について、町民税の個人の現年課税分の減額は、主に定額減税によるもの。法人も

## 令和 6 年度決算より

### 一般会計 歳出総額

**89 億 1,703 万 1,943 円**

### 病院・水道・各種保険会計など 特別会計を含めた歳出総額

**145 億 2,794 万 1,640 円**

減額。

固定資産税の現年課税分は、徴収困難案件の相対的な増加による徴収率の低下から減額、滞納繰越分は増額となっている。

軽自動車税の種別割の現年課税分は増、環境性能割の現年課税分は減額。

町たばこ税の現年課税分は例年、健康志向による売上減少のため減額となっている。

以上により、町税の合計としては、5 千 234 万 1 千円の減額となっている。

地方交付税のうち、普通交付税は交付税再算定による追加交付のため 9 千 282 万 9 千円の増額、特別交付税は特別交付税ルール分の減のため 1 千 849 万 2 千円減額となっている。地方交付税の合計は 7 千 433 万 7 千円増額となっている。

国庫支出金については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時

交付金の増、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減、により 4 千 169 万 5 千円増額となっている。

県支出金については、農業水路等長寿命化事業費補助金の増により 1 億 1 千 83 万 8 千円の増額となっている。

町債については、道の駅建設事業の建設完了、道路橋梁等にかかる事業費の減のため 1 億 8 千 123 万 1 千円減額となっている。

これらの要因により、歳入の総額は、2 億 3 千 825 万 2 千円の増額となっている。

#### 歳出

総務費については、公共施設等整備基金の積立の減、佐川駅前ビル解体工事の終了のため 1 千 891 万 1 千円減額となっている。

民生費については、高吾北広域事務組合負担金（特別養護老人ホーム及び養護老人ホーム運



営にかかる特別負担金）、児童手当、障害福祉サービス等の扶助費の増加などにより1億5千8万1千円増額となっている。

農林水産業費は1千525万5千円増額、商工費は3億2千818万5千円減額、消防費は2千161万4千円減額となっている。

これらの要因により、歳出の総額は、1億1千851万4千円の増額となっている。

## 特別会計

各特別会計の決算年度の事業概要等を紹介します

### 国民健康保険

当年度末の加入世帯は1千768世帯で、前年度末比88世帯減。被保険者数は2千568人で、前年度末比150人減。

### 学校給食

当年度の生徒数は853人で、前年度比較32人減。

歳入、歳出の総額はともに6千328万3千円、実質収支額は0円、前年度比較は歳入、歳出ともに256万8千円増。令和4年度からの給食費無償化に伴い児童、生徒等の給食負担金を、一般会計からの繰入金で賄う決算となっている。

### 介護保険

当年度末の第1号被保険者は4千842人で、前年度末比41人減。認定者は973人で、前年度末比較11人増。

### 後期高齢者医療保険

当年度末の被保険者は2千850人で、前年度末比50人増。

### 水道事業

収益的収入は2億362万1千円で前年度比124万7千円減、収益的支出は1億7千579万8千円で前年度比187万6千円増、当年度純利益は2千782万3千円で前年度比312万3千円減となっているものの、継続的に利益が計上できている。このうち給水収益は、決算額1億7千352万1千円で前年度比375万7千円増となっている。

### 農業集落排水事業

令和6年度末現在で区域内戸数188戸に対し、加入戸数は159戸となっており、加入率は84.57%、人口ベースでは、85.71%となっている。

### 病院事業

病床利用率の低下（入院患者

数の減少）、特に療養病床の利用率低下により、入院収益が減少。また、給与費の増加、物価高騰の影響による材料費や光熱費の値上がりにより費用が増嵩し、赤字幅が拡大。

年間取扱患者数は、入院患者2万8千853人で前年度と比較して1日平均入院患者4.5人減。

外来患者は、5万1千299人で前年度と比較して年間346人減。

介護老人保健施設の利用状況は、施設介護サービス及び短期入所サービス利用者4千586人で、前年度比は増。

また、デイケアセンターさくら荘、デイサービスセンター斗賀野荘の利用状況は、さくら荘4千285人で、前年度比は増、斗賀野荘4千982人で、前年度比は減となり、合計9千267人となった。



動画アーカイブ

## 9月定例会決算質疑



坂本玲子議員 獺友

会への634万円の補助金、令和6年度どんな動物がどれくらい獲れたのか。

下八川産業振興課長 捕獲の実績は、イノシシが500頭、鹿が19頭、猿が5匹、ハクビシン103匹、アナグマ40匹、タヌキ90匹、野ウサギ18匹、ハト類7羽、カラス類40羽、ヒヨドリ24羽。



西森勝仁議員 ふる

さと納税のポータルサイトの運営会社の手数料は何社でそれぞれ幾ら支払っているか。

家畜診療所巡回指導負担金60万円はどういうものか。

さかわ未来学に関する経費約1千万円近く支払われている。斗賀野小学校で濱田知事にも視察していただき、成果報告したとのこと、こうした教育の成果は、なかなか見えないが、この事業を始めてからこれ5年経つ、その特筆できる成果は？

また町民から蘭林生家取得や、台住寺の仏画修復などを望む声もある。

下八川産業振興課長 令和6年度の決算額3千700万7千309円で内訳は、ポータルサイト7サイ

ト、楽天ふるさと納税2千117万4千571円、ふるさとチョイス799万4千828円、さとふる407万5千566円、ふるなび135万6千382円、ANAのふるさと納税54万242円、JALふるさと納税45万2千922円、au Payふるさと納税33万6千908円となっている。

手数料の率は決済方法によって変わるが、楽天ふるさと納税が9.46%、ふるさとチョイスが12.1%、さとふるが13.2%、ふるなび12.1%、ANAのふるさと納税9.9%、JALふるさと納税9.9%、au Payふるさと納税が11.6%となっている。



家畜診療所巡回指導負担金は高知県農業共済組合に負担金を出し巡回指導を行ってもらっている。対象となる畜産農家は5件、肉用牛農家1件、乳用牛農家が4件。少なくとも月に1回は各農家巡回指導を受けられる。内容は、発情鑑定、妊娠鑑定、飼育指導、助成、ワクチン接種、乳質改善など。

濱田教育長 教育研究所の設立により、不登校率は平成30年当時の全国平均の約2倍から大幅に改善し、令和6年度は2.5%と全国・県平均を大きく下回る水準に。学力も全国平均を上回るまでに向上し、ICT活用によって主体的な学びが定着。さらに「佐川に住み続けたい」と答える小学生が平成30年度の14.9%から昨年度42.5%に増加するなど、ふるさと教育の成果も顕著である。

## 補正予算質疑



齋藤光議員 ヘリポート建設費用、道の駅駐車場横に建設予定で予算約2億円。道の駅整備前

ヘリポートだった場所にまたヘリポート建設。その経緯は？

今回、高い擁壁を組み、大量の盛り土を行うと聞いたが、以前に質問した柳瀬川改修の残土受け入れ問題が解消されるなどのメリットはあるのか？

横畠総務課長 令和4年5月末、霧生関地区の緊急避難着陸場廃止を受け、加茂地区内で代替候補地の選定を実施。専門事業者の調査により10か所を抽出し、県防災ヘリパイロットや高吾北消防署員と協議の結果、竹ノ倉の非耕作地を最終候補地とした。しかし、令和6年

8月の説明会で農作物等への影響などの懸念が多く賛成が得られず、整備を断念。その後、加茂・佐川両地区で再検討を行い、地理条件や整備費、災害対応機能などを総合的に判断し、最終的に道の駅東側への整備を決定した。

吉野建設課長 今回ヘリポートの建設に河川改修で出た土砂を約8千立方メートル受け入れる想定をしている。土砂の処分は民間で1立方メートルあたり1千800円ほどかかっており、1千万円以上の処分費の削減が見込まれる。そのため、経費削減分河川改修が延長できると期待している。







田村幸生議員 加茂地区のヘリポート建設費

として高知県の助成を受ける予定か、受けるならいくばくになるか？



横島総務課長 高知県緊急用ヘリコプター離着陸整備事業費交付金の活用を考えているが予算の範囲内となっている。補助額についてはここではお答えできないが、できる限り活用したい。

岡林哲司議員 ヘリポート設置について、計画地はインクルーシブ遊具を含む公園から約80m、公園駐車場から30～60mの近接地であり、BK17型ヘリの離着陸時には80

m離れた位置で80～90デシベルの騒音（これは小さい子供には大きなストレスや恐怖を与えるレベル）が想定されるが、防音壁による低減効果の数値が示されていない、合理的配慮に欠けるのでは？

現行のサッカー場ヘリポートは平日のサッカー場利用が少なく、不使用時は施設され、緊急時に即時使用が可能、新設予定地では利用者の退避が必要で搬送に支障を来すおそれがある。1分1秒を争う状況で、降りられない可能性の想定は？

週末はたくさん車が止まっており、退避させる場所がないことも想定される。退避が完了しない場合に降下を中止する可能性あるとドクターヘリ運用関係者に聞いた。それでも降りるとなると車が傷つくことも考えられる、その補償を全て町がするの？

さらに遊具公園とインクルーシブ遊具は道の駅

への集客を目的としている。ここに救急車やバトカーが来て、遊んでいる子供を退避させる必要がある、この計画は合致しないように感じるがどうか？



必要に応じて追加対策も検討していく。風・音に過剰に反応する特性のある子どもや利用者へ、退避の可能性などの注意喚起看板も検討していく。

候補地は県防災ヘリパイロットやドクターヘリ運航会社、高吾北消防署員と協議のうえ選定され、人の多い施設であることも認識した上で「常時使用可能」と判断している。車に関しては退避を想定していない、人だけの退避の想定となっている。車に被害が出た場合は町で対応する。集客の目的の施設に対して、少し課題はあると考えているが、様々な経緯でこの場所を選定した。佐川・加茂地区に重要な施設であるのでご理解いただきたい。

横島総務課長 具体的な数値は、現在示せない。東駐車場より約3m低い位置に設置し、2mの防風・防音フェンスを設けることで、風・音はかなり抑えられると考えている。実際に離着陸の状況



### 高吾北組合議会

9月2日、高吾北広域町村事務組合議会第3回定例会が開催されました。

提出されました議案は、令和6年度高吾北広域町村事務組合一般会計等歳入歳出決算の認定について、高吾北広域町村事務組合職員定数条例の一部を改正する条例を含む条例案3件、令和7年度高吾北広域町村事務組合一般会計補正予算案4件で、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

### 日高村佐川町学校組合議会

9月24日、日高村佐川町学校組合議会が開催されました。

議案は令和6年度日高村佐川町学校組合一般会計歳入歳出決算の認定について、令和7年度日高村佐川町学校組合一般会計補正予算1件であり、いずれの議案も満場一致で可決されました。



# 令和 6 年度決算

## この事業に議会が注目！

9月定例会で、令和6年度の決算が認定されました。議会が注目した令和6年度の事業を紹介します。



### 「書かない窓口」 構築事業

4,564万円

窓口での届出・申請書の作成支援のためのシステムを導入し、来庁者の利便性向上を図る。  
あわせてコンビニ交付を導入し、来庁せずに対象の証明書の交付を受けることができるようにする。



### 乳幼児医療費 助成事業

3,683万円

子どもの医療費保険適用の自己負担分を助成。令和6年4月より、対象年齢を15歳から18歳に引き上げ。  
・県単独補助事業 $\frac{1}{2}$   
(小学校就学前まで)

### 農地利用最適化 交付金事業

270万円

農地利用の最適化（担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等）の活動を行う。現場でタブレットを有効に活用しながら、最適化を図っている。

### 基盤整備事業

2億1,280万円

農業水利施設（堰、農道、水路など）維持修繕のための計画策定及び長寿命化工事を行う。  
久万田堰等の補修・改修工事を実施。





新図書館さくとの建設、及び情報環境整備、備品購入。

## 新文化拠点整備事業

5億8,193万円

## 木造住宅耐震化支援事業

1億4,042万円

南海トラフ地震対策を推進するため、耐震診断や耐震工事など耐震対策の補助を行う。

ふるさと寄附金の増加による、自主財源の確保と生産者・事業者の所得向上を目的とし、新たな返礼品の開発、PR促進（ポータルサイトの追加）を実施。

## ふるさと寄附推進事業

1億5,641万円



飲用に適した良好な生活用水の安定的な確保と給水施設を地区内で管理する仕組みをすることにより、高齢化が進む地区での生活を安心して暮らせる環境へと整備する。  
令和6年度は川内ヶ谷の2カ所で整備を行った。

## 飲料水供給施設整備補助事業

7,107万円

## 老朽化対応整備事業

7,076万円

社会教育各施設及び、給食センターの老朽化に伴う、施設・整備等の改修及び更新（対象施設・地質館、桜座、給食センター）。

橋梁、トンネルなどを計画的に修繕し、施設の長寿命化につなげることに併せて、道路拡幅などの改良系事業を実施し、安全性や利便性の向上を図る。

## 地方道路交付金事業

2億1,842万円



## 地方道路交付金事業

3千820万円

地域振興策の進捗加速のための道路改良工事費が当初予算見込みより多くなったため

## 障害者自立支援事業

2千242万2千円

障害福祉サービスの利用額が当初予算見込みより多くなったため

## 障害児通所等給付費事業

2千700万円

障害児通所等給付額が当初予算見込みより多くなったため

## 加茂地区町営住宅整備事業

2千747万3千円

加茂地区に新しくできる住宅団地整備の用地購入にかかる費用

## 消防施設整備事業

2億1千23万2千円

加茂地区ヘリポート整備事業にかかる費用

## 公共土木施設災害復旧事業費

7千762万9千円

佐川町丙（川内ヶ谷）で発生した道路災害復旧工事にかかる費用

## 監査意見（要旨）

監査委員 英司 益哲 田林 上岡

令和6年度の一般会

計の決算の状況は、歳入総額93億2千685万8千円、前年度と比較して2億3千825万2千円の増加、歳出総額89億1千703万2千円で、前年度と比較して1億1千851万4千円の増加となっており、歳入歳出差引額は、4億982万6千円となっている。翌年度へ繰越すべき財源2億3千171万2千円を差し引いた実質収

支額は1億7千810万9千円となり、このうち9千万円を基金に繰り入れることにしている。普通会計の財務分析においては、経常収支比率は93.2%で前年度より2.6ポイント悪化、財政力指数は前年度と同じであった。実質公債費比率は6.9%で前年度より1.5ポイント悪化している。

近年の大規模建設事業の財源として借入した町債の元利償還金が増加、増加し、実質公債費比率が上昇することが予想されるので、今後においても厳格な執行管理が必要である。

とより、関係法令、条例等の規定、規範を十分認識するとともに、常に確認しながら正確な事務処理を行うよう、更なる職員の意識改革に努められたい。

支額は1億7千810万9千円となり、このうち9千万円を基金に繰り入れることにしている。普通会計の財務分析においては、経常収支比率は93.2%で前年度より2.6ポイント悪化、財政力指数は前年度と同じであった。実質公債費比率は6.9%で前年度より1.5ポイント悪化している。

近年の大規模建設事業の財源として借入した町債の元利償還金が増加、増加し、実質公債費比率が上昇することが予想されるので、今後においても厳格な執行管理が必要である。

とより、関係法令、条例等の規定、規範を十分認識するとともに、常に確認しながら正確な事務処理を行うよう、更なる職員の意識改革に努められたい。



以上、監査委員の監査報告及び意見とする。



## 議員各位の意思表示

賛否表（令和7年9月定例会） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	齋藤 光	岡林 哲司	山本 和輝	田村 幸生	橋元 陽一	宮崎 知恵子	西森 勝仁	下川 芳樹	坂本 玲子	森 正彦	松浦 隆起	岡村 統正	永田 耕朗	藤原 健祐
佐川町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	ー	○	○	○
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町農業集落排水事業会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町水道事業会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和7年度佐川町一般会計補正予算（第3号）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和7年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和7年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和7年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和7年度佐川町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
令和6年度佐川町水道事業会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町空き家活用住宅の管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町議会議員及び佐川町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
加茂辺地に係る総合整備計画の変更について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○

## 議員各位の意思表示

賛否表（令和7年第2回臨時会） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	東 祐太朗	田村 雅之	安田 節子	齋藤 光	岡林 哲司	山本 和輝	田村 幸生	宮崎 知恵子	西森 勝仁	下川 芳樹	松浦 隆起	中村 卓司	岡村 統正
令和7年度佐川町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○

# 令和7年第2回臨時会

第2回臨時会は、10月24日に開催され補正予算案1件審議し、採決の結果、満場一致で可決しました。提出されました案件は、令和7年度佐川町農業集落排水事業会計補正予算（第2号）であり、建設改良費の改良工事費で9万9千円増額補正し、資本的支出合計2,041万4千円となりました。設備の更新に係る工事費であります。

# 令和7年第3回臨時会

第3回臨時会は、11月17日に開催され、同意案2件、議案1件を審議し、採決の結果、全件満場一致で可決しました。提出されました同意案件は、佐川町副町長の選任について、佐川町監査委員の選任についてでありました。議案は工事請負契約の締結について、町道旧国道33号線道路災害復旧工事であり、契約金額6,127万1,100円であります。

## 議案質疑

問 中村卓司議員 他市町村で不祥事があつたが、このように4社が同額となる事例が今までいくつあつたか。最低金額も同額であるが、そのような例が今までにあるのか。

吉野建設課長 通常土木建設工事は積算システムがある。

他市町村で問題になったのは建築工事、建築工事にも積算システムはあるが、設計金額中で見積もり等を利用して設計書を作るケースがあるため、同額になりにくいと推測する。

土木建設工事の場合は積算システムを利用してある業者が多く設計金額がそのまま反映される事が頻繁にあると感じている。

※なお、佐川町は予定工事価格を公表している。

## 議員各位の意思表明

賛否表（令和7年第3回臨時会） ○：賛成 ●：反対 一：議長 欠：欠席

	東 祐 太 朗	田 村 雅 之	安 田 節 子	齋 藤 光	岡 林 哲 司	山 本 和 輝	田 村 幸 生	宮 崎 知 恵 子	西 森 勝 仁	下 川 芳 樹	松 浦 隆 起	中 村 卓 司	岡 村 統 正
佐川町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○
佐川町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○

## 人事

○副町長

氏名 田村 正和  
住所 佐川町二ツ野



○議会選出監査委員

氏名 齋藤 光  
住所 佐川町乙



※適正な行財政運営が行われているか、定期的に監査します。

○佐川町教育委員会教育長

氏名 濱田 陽治  
住所 吾川郡いの町天王北

○佐川町教育委員会委員

氏名 安岡 佑晃  
住所 佐川町乙

○佐川町固定資産評価審査

委員会委員  
氏名 永田 満子  
住所 佐川町加茂



## 高校生に聞かれて気づく、 議会の今とこれから



Youtube チャンネル  
「佐川高校生が聞く佐川の未来」

「聞いてみたい」に  
応えた議会

今回の町議会議員選挙は、佐川町史上初めての無投票となり、町民の皆さんが議員の考えや政策に触れる機会がないまま、新しい議会が始まりました。この状況を受けて、町内の有志と佐川高校生が「議員に直接聞いてみたい」と立ち上がり、全議員へのインタビュー企画が行われました。議会は、その問いに答える形で取材に協力しました。

高校生の率直な質問に議員が答えました

インタビューでは、佐川町の良いところや課題、町の将来像、施設の老朽化、産業や教育のこ  
となど、高校生ならではの視点から具体的な質問が寄せられました。「なぜ議員になったのか」「政治を身近にするには何ができるか」など、議員一人ひとりが改めて考え直すきっかけとなる問いも多くありました。



佐川町が抱える短期的、  
長期的な課題とは？

佐川町議会議員13名へのインタビューでは、長期的課題として最も多く挙げたのは人口減少・少子高齢化への対応でした。教育と雇用、空き家活用を含む住環境を整え、「暮らしやすく幸せだと感じられる町」として若者の定住やUITターン、移住を促す必要性が共有されています。次いで、佐川高校の存続・魅力化、農業を中心とした産業・雇用基盤の強化、仁淀川流域や国道33号線バイパス高規格化を見据えたインフラ・環境の将来像、自治会やボラン



ティア団体など地域コミュニティの維持・再生が挙げられました。

短期的課題としては、子育てや医療、移動手段など住民の困りごとへの即応、農業基盤整備と担い手対策、佐川高校再編への早急な対応、道の駅さかわのてこ入れ、情報発信・広報の強化、町内の多様な働く場の確保などが多く指摘されています。



町民と議会の距離を縮める取り組み

取材後、高校生からは「議員が思っていたより近い存在に感じた」「町の課題が自分たちの生活とつながっていると気づいた」といった声が上がりました。議員側からも、「若い世代が町を真剣に見ていると分かります」と工夫しなければと感じています。

今回の取り組みは、無投票という出来事を「情報不足のまま終わつた選挙」にせず、町民と議会の距離を縮める試みになりました。

議会としても、寄せられた問いに丁寧に向き合い、これからも町民の皆さんとともに、佐川町の未来を考えていきたいと思っています。

## 仁淀川流域町村 議会議長会

11月6日、仁淀川流域町村議会研修会に参加し、日高村の水害の歴史と「流域治水とまちづくり」と題した講演があり、長年の水害との戦いの歴史を学びました。

今後は第3の放水トンネルを活用した見学ツアーなどインフラツーリズムとして観光資源化を目指すとのことで、治水とまちづくりが連携する可能性を実感しました。

日下川から仁淀川へ水を流す総延長約5.3km、総工費約260億円の新日下川放水トンネルも見学。



西森勝仁 議員



① 佐川町財政の状況と将来予測、また公共施設の維持管理費について

② 道の駅の地域経済への貢献について

③ 佐川町における人口減少対策総合交付金の使用用途及び移住定住政策について

## 問 どうする迷惑庭木と里山対策

### 答 法的措置も検討する

問 今、町内では、住む人が居なくなり、管理ができず荒れ放題となった庭木が目立ち始めており、近隣住民は迷惑している。連絡しようにも連絡先は分からず、役場に聞いても個人情報と言いつことで教えてはもらえない。しかし、役場は、この土地建物から固定資産税を徴収しているので役場が仲介して問題解決できないものか。また、里山でも民家や

公的施設に倒れかけりするような危険木や、高齢化が進んでいる集落に通じる生活道でも、個人名義になっている公衆用道路の草刈りなどの管理はこれから先どうするのか。

吉野建設課長

基本的には、所有者管理が原則であるので、こうした場合には写真をつけて対策を依頼している。ただ、危険な空き家については「特定空き家」に指定し、法的措置も検討する。また、生活上必要な道路の草刈りなどについては、来年度から予算措置をする。



## 問 どうするジャンボタニシの駆除

### 答 対策の啓発を図る

問 町内では今、尾川から室原・加茂など至る所でジャンボタニシの食害により、稲作農家に大きな被害が出ているが、この被害届けは出ているか。また、これは個人毎に駆除しても、用水や排水から流入するので限界があるが、病虫害対策の共同防除のように面的あるいは水系ごとに共同駆除はできないか。

下八川産業振興課長  
被害届としては出ているが現場は確認している。

この対策については、既に7地域で実施しているし、また、駆除の日当や薬代も出る制度があるので対策の啓発を図る。



農家を悩ませる「ジャンボタニシ」の食害





下川芳樹 議員



- ① これまでの質問に関する振り返りについて
- ② 産廃施設及び地域振興事業の進捗状況について
- ③ 子育て支援政策の充実について

## 問 集落機能の維持 有償で取り組める仕組みを

答 維持してもらえ  
る体制づくりを構築

問 近年集落の道路や河川、農地などの除草管理ができていない地域を見る。本年5月に行った議会懇談会では、複数の自治会長からこれまで行っていた道作り、草刈りなどの共同作業が高齢化などにより難しいとの意見が上がっていた。このままでは、集落機能の維持すら難しくなる。すべて行政で行えないなら、隣接する自治会や住民組織が協力して有償ボランティア的に取り組める仕組みを創設できないか。

片岡町長  
少子化、高齢化で、地域のコミュニティ維持が厳しい状況となってきた。行政としては、維持管理するのは地域住民であるから、県の管理するところは県にお願いする。町の管理しなければならない河川や町道、農道などは、今後しっかりと各自自治会との協議も進めながら、柔軟な体制で地域の維持、コミュニティの維持をしてもらえ体制づくりを構築していきたい。



負担が増え続ける除草作業

## 問 子育て支援 あったかふれあいセンターで

答 取り組むことの協議と事業提案を

問 地域の住民力を昔のように押し上げて、大人や子ども同士が寄り添い、助け合える環境を育てようと、加茂の里づくり会では新しい子育て支援に取り組んでいる。自主財源での活動に制限があることから、あったかふれあいセンター事業を活用して、令和8年度予算で取り組みができないか。



住民同士が支えあえる子育て環境を

岡崎健康福祉課長  
地域における子どもの見守りや孤立防止、健全な成長支援は、町として重要な課題と認識している。まずは加茂の里づくり会で行っている自主事業を、あったかふれあいセンター加茂の里の事業として、取り組むことについて法人内で協議し、事業提案をしてほしい。

坂本玲子 議員



① ぐるぐるバスの経費・時刻表・課題などについて

② パートナースhip制度導入の進捗について

③ 町政の成果と課題について。  
特に農業（水稲）、地域おこし協力隊、保育料など

## 問 ぐるぐるバスをもっと利用しやすく

### 答 利便性を考慮し検討する

問 ぐるぐるバスは今回の改正で定期券ができたこと、料金体系が統一されたこと、時刻表をスマホ検索ができるようになったことは画期的だと思う。しかし今回の改正に不満の声がある。更なる利便性向上が必要である。



住民の足「ぐるぐるバス」のさらなる改善を

問 回るように。検討を。

上の1便あたりの利用者は郊外線始発153人、最終便035人、道の駅線では始発042人となっている。時間・場所・便数の検討が必要ではないか。また乗り換えごとに200円かかる乗車券。自由に乗り換えができる1日券を作っているかどうか。また待合に屋根や椅子があったら良いという声もあるがどうか。

安岡まちづくり推進課長

アンケートやヒアリングの内容を確認し加茂地区のみでなく町全体の路線で検討したい。始発の場所、最終便の必要性、便数についても利便性を考慮し今後検討したい。1日券も検討する。待合場所の改善もしていきたい。

## 問 保育料の完全無料化を

### 答 今後検討していく必要がある

問 佐川町は子育てしやすい町宣言をしている。佐川町で保育料を払っている人はR7年度でわずかに32人、年間保育料約1千万円。この人たちは給食費無料化の恩恵も受けていないことになる。県内で保育料完全無料化を実施している市町村は19。子育て世代の経済的負担を減らすため、0〜2歳児保育料を無料にして保育料完全無料化を実施して頂きたい。

片岡町長

子育て支援策についてはいろいろ実施している。少子化対策として段階的に保育料の軽減に取り組んできた。今年度から第2子完全無料化を実施している。

少子化が進んでいく中で保育料完全無料化も今後十分検討していく必要があると考えている。



子どもは町の宝。  
安心して子育てできる町に





橋元陽一 議員



- ① 第6次佐川町総合計画について
  - ・総合戦略・教育振興計画・こども子育て支援計画と重ねて新産業施設建設の進捗状況について
  - ・日高放水トンネル工事での破砕帯と南斜面の関係、その後の観測と報告の状況について
- ②
- ③ 子どものすこやかな成長の支援について
  - ・子育てしやすい町宣言の取り組みをすすめて

1 沖縄県	834	7 兵庫県	589	24 京都府	648
2 鹿児島県	738	8 福岡県	588	25 富山県	644
3 熊本県	730	9 石川県	586	26 神奈川県	635
4 宮崎県	729	10 愛知県	580	27 岐阜県	633
5 東京都	712	11 長野県	570	28 山梨県	630
6 福岡県	703	12 静岡県	670	29 静岡県	630
		13 福井県	569	30 岐阜県	620
		14 宮城県	568	31 千葉県	629
		15 茨城県	567	32 茨城県	628
		16 佐賀県	565	33 岡山県	627
		17 鳥取県	564	34 三重県	624
		18 和歌山県	564	35 徳島県	619
		19 高知県	563	36 大分県	610
		20 山形県	563		
		21 大分県	562		
		22 北海道	558		
		23 山梨県	557		

問 10年前の総合計画で、地域しあわせ風土全国版

## 第6次の町づくりの指標の提示の検討は

答 地域幸福度指標とアンケート分析とで検討

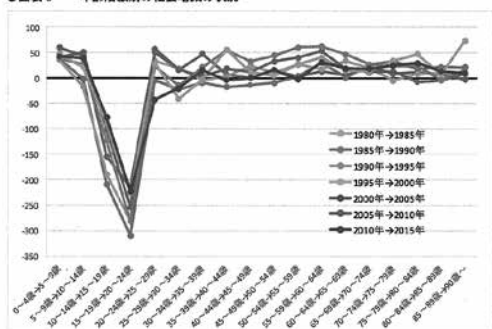
指標で、佐川町民のしあわせ風土スコアは737・6で全国3位と提起した。第6次計画でまちづくりの指標の提示をどう検討しているか。

30年後の町人口ピラミッドを推計できるか。また30代女性の転入が多い佐川町の人口動態分析や、今期国勢調査の分析を第6次計画に反映できるか。

安岡まちづくり推進課長

今回はデジタル庁が提供している地域幸福度指標の活用と、前回と比較可能な項目を加えたアン

●図表5 年齢階級別の社会増減の状況



ケートで分析している。「住みやすい」が8割近くで、幸福感や豊かな自然環境への地域愛着感も増加している。少子高齢化・人口減少が顕著となる中、生活環境や住民意識の強みを生かした、分野ごとの課題解決に向けた計画を策定していきたい。

2050年までの5歳ごとの人口ピラミッドは描くことができる。また国勢調査の活用できる項目や、転入時に実施予定のアンケート（任意）で詳細な人口動向を分析できると考える。

## 南斜面の地盤動きの説明はないか

答 地盤の異常は確認されていない

問 日高第3放水トンネル工事では破砕帯が数か所で出現して難工事になったと聞いた。先の南斜面の崩壊と共通する事象として、説明を受けていないか。

重力性変形やスレーキングが起きた南斜面では崩壊後、3時間で2mm単位の移動が起きたら警告を発する仕組みで観測が継続されている。観測の結果は、住民や町に報告されているか。

廣田住民課長

日高放水トンネルでの破砕帯との関係についての説明は、住民説明会で行われていない。現場で確認されたら、慎重に施工を進めると説明を受けた。

南斜面は、人工衛星による位置情報を活用するシステムで観測が継続されている。異常が確認されたときは、応急措置の状況や今後の対策について報告と説明を受けることになっている。現在まで、異常がないので、説明会も実施されていない。



埋立予定地を北側から見た状況

森正彦 議員



① 町づくりについて  
ソフト政策を元に更なる住民力の充実を

② 文教の町を柱に今後の町づくり政策を進めて行くのはどうか

③ 若者の定住への課題と対策について

## 問 佐川は良い町 住民力のさらなる向上を

### 答 仕組みづくりの整備が必要

大事であり、この活動を素晴らしいと認識し支援していくことが重要だ。  
住民力をどのように捉え支援するのか。

片岡町長

住民力とは、地域に暮らす住民一人一人が持つ課題解決力、地域づくりへの参画力、そして地域をより良くしようとする意欲と行動力の総体を示すものだ。

住民力を高めるには、行政が支える側、つなぐ側として役割を果たし、住民が自らの力で地域づくりに取り組めるような仕組みづくり、情報提供、そして対話の場の整備が必要だと考える。

今後も引き続き住民と信頼関係を持って協働できる地域社会の実現を目指して取り組んでいきたい。住民の皆さんには感謝している。

問 佐川は良い町だ。歴史と文教の町を形づくる人、人が良い。各地区に住民組織があつてそれぞれが地域に合った活動をしている。ほかに音楽をたしなむグループ、写真に絵画に俳句、スポーツでも子供から高齢者まで活動している。皆が輝いている。佐川の町づくりは人、人が支えてくれている、この住民の力、住民力のさらなる向上が



歴史と文教の町さかわ

## 問 若者の定住 幸福度を高めるべき

### 答 幸福度につながる施策をやっていく

持続可能な町づくりにとって極めて重要な視点であると認識している。

町では、町民一人一人がこの町に住んで良かった、これからも住みたいと思える町を目指して取り組んでいる。住民の皆さんの幸福度を上げていくことは、若者の定住につながる。今後も引き続き町の魅力を十分に出してPRし幸福度向上につながる施策をやっていく。

問 人口減少と若者の定住問題はなかなか難しい課題だが、地元に住んでいる人の満足度が高くないと若者は定住しない。一番大事なのは住む人の幸福度を高めることではないか。

片岡町長

幸福度は、単に物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさや人とのつながり、安心して暮らせる生活環境等、多面的な要素から成り立つもので、持



若者が住み続けたいと思えるまちづくりを





齋藤光 議員



③ 佐川町の林業政策について

② 総合計画について  
第5次総合計画の振り返り、次期総合計画の進捗について

① 道の駅不明金について、事件の進展や不明金回収の見通しは

## 問 道の駅横領事件 進展や状況は

答 示談が成立  
全額返済を確約

問 以前「まきのさんの道の駅・佐川」において、不明金が発生し、元職員による横領事件として報道があった。  
以前も議会で質問したが「警察の捜査が続いており、現時点で詳細を把握できていない。裁判の行方を見守り、財団としては、弁護士と相談しながら回収に取り組み。」という答弁だった。  
事件発覚から時間が経過する中で、町として現状をしっかりと示す必要がある。道の駅での横領事

田村副町長  
今現在は裁判の判決を待っている段階だが、大きな進展として、業務上横領を起こした元職員との間に示談が成立している。この示談は、被害額全額の横領を認めていること、被害額全額の返済を確約していること、連帯保証人が設定されていることなどから示談を交わすという判断をした。今後は判決を待った後被害額の回収に向けて取り組みでいく。不明金の総額は846万5千926円。



件について、事件の進展や現在の状況はどうなっているか。

## 問 総合計画委託料は

答 策定委託料 1,553万2千円

問 町の最上位計画である総合計画の次期計画画の進捗状況だが、委託料はいくらか。そして具体的にはどのような業務に使われているのか。また、ワークショップにて町民の意見を反映させるとのことだが、佐川地区のワークショップ参加人数は10人でそのうち4人は議員だったが、全体での参加人数はどうなっているか？



ワークショップの様子（佐川地区）

安岡まちづくり推進課長  
第6次総合計画の策定の委託料は令和6年度653万4千円、令和7年度899万8千円。合計1,553万2千円。  
業務の内訳は、令和6年度が住民アンケート調査、対象は住民が1千件程度、中高生が430件程度の実施及び報告書の作成。ワークショップ計8回の実施、人口推計の実

令和7年度は、5地区5回のワークショップの実施、現行計画の検証評価、次期総合計画及び総合戦略の素案の作成、次期総合計画の印刷製本等。  
ワークショップ全体での参加者は令和6年度が166名、令和7年度が72名。ワークショップでいただいた町民の皆様の意見や提案は、分野ごとに整理分類を行い、課題やニーズを抽出し、町の将来像や施策検討に反映させていきたいと考えている。

岡村統正 議員



① 各地区の避難所の備品の状況は、全国の避難所の備品に照らし合わせて不足品等の状況は

② 空き家対策について、限界集落が目前に迫っている

③ 尾川川の尾川橋から下流に数本の木が大きく育っている。大水が出たときは、流れの妨げになるが

問 学校の避難所、備品の点検は

答 適切な管理をしていく

問 発電機の燃料は、LPガスだ。定期点検で使用していればガスが少なくなるが、残量は点検しているか。

横畠総務課長  
ガスについては少なくともあれば充填するが、確認が抜かっており、有事の際にガスが無いことがあつてはならない。今後は点検時には残量の確認をし、必要に応じ充填し、適切な管理をしていく。

大災害が起きればガスの補給には、何日かかるかわからない。  
補給対策をどう考えているか。  
現在ある間仕切りパーティションは高さが90センチと低い、プライバシー保護の面から、適切な高さで認識しているか。

災害時のガスボンベは、避難所近くの倒壊家屋から緊急時に借りることを考えている。  
パーティションについては、プライバシーの確保から見れば課題がある。仕切りを高いもの、テント式の場合、犯罪、安全面、熱のこもり、などの懸念がある。今後プライバシー、安全面、居住性を考え、研究していきたい。

問 メイン通りの危険家屋

答 粘り強く要望していく

問 倒壊、瓦の落下の危険な建物がメイン通りに有ることを役場として認識しておくべき、個人の建物で事故に役場は責任はないが、町民の安全を確保する責任は役場にある。早急に対策を講ずる必要がある、所有者に要請し取り組んでいただきたい。

吉野建設課長  
すぐに対策をとらならないが役場として危険が及ぶことが無いよう、所有者に粘り強く要望していく。



倒壊や落下の危険性のある屋根瓦





宮崎知恵子 議員



の貢献)

②自立支援の充実  
(働く喜び、他者へ

①生活保護制度の在  
り方について

2 福祉制度について

③駐車場有料化、観  
光地としてよりよい  
資源の有効化

②司牡丹酒造・焼酎  
蔵、今後の運営

①図書館等々の非営  
利組織の経営

1 税金の使い方に  
ついて

## 問 非営利事業 採算を考えているか

### 答 財源の確保に知恵絞る



「さくと」の雑誌コーナーはスポンサー制度を活用

問 図書館「さくと」をはじめとする非営利事業について、いかなる非営利事業においても、収益を上げる発想がなければ事業体を維持することはできない。現状、維持費は税金を財源とする公費が充てられている。図書館など非営利事業において採算をとる考えはあるか？司牡丹焼酎蔵についても、官民連携の仕組みを通じて、町の収益に繋げることが可能だと考える。町と事業者の間でどのような契約が進んでいるか？

岡田教育次長

図書館「さくと」の令和7年度当初予算では、人件費を除いて管理運営費で2千851万4千円。様々な非営利事業で「採算をとる」ところまでは難しいが、青山文庫、地質館ではグッズの販売などを収益に充てている。図書館については、雑誌スポンサー制度を取り入れ事業者や団体に購入費を負担していただいている。子供推薦書棚の設置と子供向け図書の購入を主な目的としたクラウドファンディングを現在実

施している。他にも財源の確保につながる方法について知恵を絞っていく。

安岡まちづくり推進課長

司牡丹焼酎蔵は、耐震補強工事、白壁、内外装の整備等を行う耐震補強基本計画及び活用計画を策定。基本設計業務を有限会社艸建築工房、上川設計企業体と契約。指定管理候補者として福岡県の株式会社リタを選定。今後、本年度に基本設計画を実施、翌年以降改修工事、翌々年の開業を目指す。

## 問 自立に向けた取り組みは

### 答 自立に向けて指導援助を行う

問 社会保障は最低限度のセーフティネットとして必要である反面「働くより保護を受けた方が得」というような、不公平感を感じているとお声も聞く。一時生活保護を受けることや何かに失敗したり挫折したり、病気になることをもって人を断罪すべきではないと思うが、そうした苦境の中に放置し、本当の意味で自立を進めてあげられ

ないことが問題ではないか？生活保護の基準と自立に向けた取り組みはどうなっているか。

岡崎健康福祉課長

生活保護受給基準は、地域ごとに設定されており、それに基づいて支給され、自立を助ける制度となっている。

県福祉保健所のケースワーカーがご自宅を訪問するなどして自立に向けた指導援助が行われる。



住民によりそう福祉の拠点  
「かわせみ」

田村幸生 議員



- 1 小中学校に於ける防災・減災への取り組み
- 2 災害関連死の認定に対する具体的な取り組みについて
- 3 災害関連死を限りなく防止する政策について
- 4 地域づくり応援交付金の対象に佐川地区を
- 5 消防団員の定数確保に向けた政策について
- 6 佐川高校魅力化存続に向けた政策について

## 問 こども消防・防災クラブの取り組みを

### 答 校長会やPTA で働きかける

の生命を守ること、郷土を愛し貢献することにつながる観点から、ふるさと力、人間力、未来想像力を育成する佐川みらい学構想実現のため重要で効果的な取り組みである。

防災減災教育は、取り組みが進み、研究と実践が蓄積されている。課題は、最善かつ的確な行動がとれるよう、過去の事例を参考にさまざまな災害の様態を学ぶことである。

避難訓練は、さまざまな場面を想定した避難行

動の取得、繰り返し実施により避難行動の日常化をめざしている。

少年消防・防災クラブは、県内16市町村で活動している。

その中には、「消防オリンピックスويس大会」へ参加するなど、活動を重ねて消防士になり、今、地域の防災に貢献している方もいる。

防災教育とともに、将来、地域の防災を担うリーダー育成にも効果がある。校長会やPTAで紹介し、働きかける。



防災について学ぶ子どもたち

濱田教育長  
佐川町での防災教育は、防災減災を学ぶことを通して、みずからと他

## 問 佐川高校魅力化存続に向けた政策

### 答 存続に向けて取り組んでいく決意

また、佐川高校の魅力・存続に向けて片岡町長の覚悟を聞く。

片岡町長

令和2年度から6年度の仁淀川流域3町1村の中学校から佐川高校への平均進学率は、仁淀川町28.2%、越知町20.2%、佐川町17.1%、日高村・加茂で8.1%。

町立中学校卒業生の進学状況は、JRがあり進学者が多様な進路希望を実現するための選択をしていると考える。

入学者数の目標をクリアするには、進路希望に応えられるよう、教育内容の一層の充実が課題である。

佐川高校は、仁淀川流域にとって絶対に必要な高校として認識している。魅力ある高校にするため、地域コンソーシアムや県教委と何ができるのか、どうするべきかをしっかり協議し、存続に向けて取り組んでいく決意。

問 佐川高校の地元仁淀川筋には、現在存続できる卒業見込み者数がある。そのため、地元から佐川高校への進学を選択できる環境づくりや仕組みづくりはとても重要。

地元4町村の中心地である佐川町が核となり、大きな流れを作って実現していくことがキーポイント。

町長の考えを問う。





岡林哲司 議員



- ① 消防団の活動服について
- ② 佐川高等学校地域コンソーシアムの近況と、佐川町独自の動きの必要性について
- ③ まきのさんの道の駅・佐川について
- ④ ふるさと納税・道の駅・観光協会・商工会の相乗効果について
- ⑤ 米価の高騰と学校給食のクオリティについて
- ⑥ 黒岩中学校校舎の活用計画について
- ⑦ よさこい高知文化祭について

## 問 町として具体案あるか？

答 具体策ない、  
関係町村と話し合う

問 第2回地域コンソーシアム会議へ町の具体案はあるか？

来年度に向け独自施策の必要性がある、短期的に実施できる案として、①通学補助、②空き家活用による下宿整備、③留学・企業体験支援、④学習支援事業を提案する、どう考えるか。

このペースで令和9年度末までに間に合うか？町として具体的な行動計画を設定し、佐川高校を存続させる10年ビジョンを総合計画に位置づけているか？

片岡町長



タイムリミットはR9年度末

佐川高校の設置者は県であり、経営主体は学校にある、関係する四町村で共通の認識を持ち、支援の方向性を話し合うことが重要。町単独での具体策や予算化は現時点では上がっておらず、関係町村と足並みをそろえた。

通学補助は佐川町だけで行うのは難しく、今年度は予算化していない。空き家活用による下宿整備は安全面や責任体制を考慮し、県教委と協議を行う。留学・企業体験支援は実績がなく、海外に限らず今後の協議課題と

したい。学習支援は学校で放課後講座や公務員講座を実施しており、一定の成果がある。

高校の魅力づくりは関係町村と連携して進めた。目標達成については協議が始まっており、判断は難しいが、何とか達成してもらいたい。第6次総合計画の教育分野で高校の位置づけを検討する。

濱田教育長

現行のスケジュール感には無理がある。佐川に高校は存在する必要がある。

## 問 利用者アンケートで情報収集を

答 前向きに検討する

問 道の駅の利用者満足度や意見収集がまだ行われていない、常設の意見箱やQRコードによるアンケート、当事者ヒアリングを早急に実施し、その結果を町民へ公表すべきではないか。

また、インクルーシブ遊具近くにトイレがない現状は障がい者差別解消法に基づき、合理的配慮の観点から当事者の声を聞き、必要な対応を検討すべきではないか。



下八川産業振興課長

利用者アンケートや意見箱は現在設置していないが、満足度の把握や情報収集は有効と考えており、今後前向きに検討していく。

合理的配慮とは、例えば音や声が聞こえない人に対して、文字や絵・タブレット等で同じように情報が伝わるようにすることなどになると解釈しており、トイレについては合理的配慮に欠けている認識はない。

ただ、住民の意見や要望もあるので、今後障害のある方に個別に意見を伺う機会を作りたいと考えている。

永田耕朗 議員



① 青山文庫の新築について

② 農業振興策について

## 問 農業振興について

### 答 支援をしていきたい

して多いとは言えないが農家の生産意欲の支えにはなつたのではないかと支援は継続することによって効果がでてくると考える。継続するには財源が必要であると思うが、農家への支援継続の方法をどう考えているか。



55年ぶりの米増産政策。だが現場の田は、すぐには戻らない。

問 町内でも水田の耕作放棄地が増大しているが、根本的な原因は、昭和45年に食管会計の赤字消滅を目的とした米の減反政策が始まり、平成30年まで続いた。この間に米農家が生産意欲を失つたと言つても過言ではない。今、国の農政は大きな転換期となつた、減反政策から55年ぶりに米の増産にシフトしようとしている。佐川町においても高齢化等により、米の増産拡大は簡単にはできない状態である。

今年初めて水稲農家へ栽培支援金があつた。決

下八川産業振興課長  
今年度は国からの交付金の中で実施をした。本年度以降、財政状況も踏まえて協議をしたい。

片岡町長  
引き続き県、国へ強く要望活動を行つていく。町でできる支援については可能な限り支援していく。今後も国と県と一緒に農家のために支援をしていきたい覚悟。

## 問 青山文庫の新築について

### 答 進めていきたい

場所になつてゐる。より多くの方々に見てもらうことが重要ではないか。先人の思いを引きつぎ後世に佐川町民の宝として残せるような施設を構えていただきたい。ぜひ県も巻き込んで補助金の獲得、財政計画を立てて、青山文庫の新築を求めます。



先人の志を今に伝える青山文庫。町の宝を次代へどう継ぐかが問われている。

濱田教育長  
貴重な資料を整理、保存、活用するためには、十分な環境とは言えない状態。平たん地への移転も視野に、可能な限り早期に抜本的改善を図る必要がある。

片岡町長  
財源についてしっかりと計画を立てて、議会にも説明をし、移築について進めていきたい。



# あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ



## 多くの野良猫が発生している 避妊去勢手術の補助制度を

無計画に野良猫が繁殖して、糞害などトラブルが発生している。町の対応を求む

2023.9月定例会（岡林議員）

避妊去勢手術を含め、調査研究をしていく

具体的に補助対象になるのはどんな猫か。  
また予算規模は

2024.3月定例会（岡林・永田議員）

猫の避妊去勢手術の補助対象は飼い猫・野良猫・雌雄両方を対象として考えている。財源は一般財源の他、クラウドファンディングも実施し、財源確保にも努めていく。

## どうなった

猫不妊・去勢手術費補助金  
補助金額：1匹 5,000円（上限）  
飼い猫・野良猫ともに対象  
申請先着順にて、予算内で対応

地域での野良猫の増加を抑えるため、手術費用を負担した方へ、手術費用の一部補助を開始。  
年間40匹分の予算を計上。

（2024年4月1日より施行）

あなたが選んだ議員の  
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は 12月5日(金)午前9時開会予定です。  
傍聴においでください。また町内4カ所の集落活動センター・夢まちランドで視聴できます。

## 編集後記

今号は、改選を経て新しい編集委員会のメンバーで臨んだ初めての号となりました。

私自身も今号から議会広報編集委員長を務めることになり、改めてその責任の重さとやりがいを感じています。

佐川町の「議会だより」は、議員自らが編集作業を行っていました。

これからは、新人議員ならではの新しい視点や発想も加わり、さらにフレッシュな誌面づくりに挑戦していきます。

町民の皆さんと一緒に育てていく「議会だより」にしたいと思っていますので、ぜひご意見・ご感想をお寄せください。

齋藤 光

## 議会広報編集委員会

委員長	齋藤 光
副委員長	東 祐太朗
委員	岡林 哲司
委員	安田 節子
委員	田村 雅之

※わかりやすい紙面に心がけています。  
読後のご感想、ご意見をお寄せください。



## 斗賀野花取り踊り

「斗賀野花取り踊り」の保存会の皆さんに伺いました。

無形文化財「白倉花取り踊り」として登録されているが、斗賀野花取り踊りとしても親しまれている。午前中は白倉神社、午後は美都岐神社で奉納される。



会長の  
山中明男さん

世話人の庄野治さん  
(左側)

## 斗賀野花取り踊り保存会



400年の伝統のある花取り踊り

花取り踊りの由来について、お聞かせください

花取り踊りの歴史は古く、400年余り昔にさかのぼるといわれています。当時高岡郡下に勢力を誇っていた津野氏の戦での勝利を祝し、神社に奉納した踊りと言われるのが最も有力な起源とされています。

諸説では、城主の戦勝祝い・敵陣突破・怨霊（おんりょう）退治などさまざまな言い伝えられています。

広義的には鎌（かま）

や棒などの持ち物を打ち合わせる棒踊、長刀（なぎなた）踊などとも関連して、悪霊退散を意味するものであったらしい。

花取り踊りの語源はなんですか

花取り踊りの語源は、ハナトリ城の名や敵将の鼻を切り取ったなどがありますが、これはハナトリの語呂合わせで、神仏に供える花、檜、榊、ツツジ、シャクナゲ等を取る意味であるとされています。花鳥と称されるものは花笠に山鳥の尾羽を飾ったことから称されたとされています。



花取り踊りは数百年継承されていましたが、戦

中戦後の多事多端のうちに途絶えてしまいました。昭和41年に諸先輩の心を受け継いだ当時の青少年達の情熱によって復興し、往時の文化を再び現在に伝えていきます。



高齢者施設へも慰問

どんな活動をされてきましたか

斗賀野花取り踊りは、本来青年の踊りと言われていますが、一時は人材不足のため、活動の継続が危ぶまれる時期もありました。長年の踊り子確保の努力が実を結び、地域の理解と協力を得て、近年では小中高生男女の入会も増え、現在若者を中心とした50数名の団体にまで発展し活気づいています。

私達の活動は踊りだけ

ではなく、斗賀野地区のイベントである「たらふく秋祭り」への参加や、地元のイベント等にボランティアとして協力すること、年間を通じて地域に貢献しています。

このように活動が幅広いために大変な時もありますが、ひとつの目的に向かって行動すること、よりいっそう結束が深まっているように思います。

今後の課題はありますか

今後は大人の踊り子を

もう少し増やしたいと思っています。長年踊ってこられた方が年齢的・体力的な問題で引退された後を支えていく担い手の確保が課題です。

地域の方々からは「文化継承をしていただき感謝します。」や、「子供達が大勢参加してくれて大変賑やかで素晴らしい。」とお声をいただきます。

今後も文化の継承と地域の活性のためにますます頑張って参りますので、応援のほど、よろしくお願い致します。



文化の継承が育む地域のつながり

あなたの周りで、佐川町の元氣のためにがんばっている「組織やグループ」をぜひ紹介下さい。